



安藤正子展

ゆくかは

一宮市三岸節子記念美術館

2023.7.8 sat — 9.3 sun

開催時間：午前9時—午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし7月17日（月）は開館）、7月18日（火）

観覧料：一般800円、高校・大学生400円、中学生以下無料

※コレクション展（三岸節子常設展示室）観覧料を含む

※20名以上の団体は2割引

※一宮市在住の満65歳以上で住所・年齢の確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方、および身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳（マイロID可）を持参の方（付添人1人を含む）は無料

主催：一宮市三岸節子記念美術館

協力：小山登美夫ギャラリー

ゆくかは

安藤正子展

2023.7.8 sat - 9.3 sun

子どもや毛糸の編み物、動物や草花などをモチーフとして、滑らかな絵肌に描かれた安藤正子の油彩画は、詩的な雰囲気にあふれ、見るものを惹き付けます。油絵具の特質を生かした緻密な描写や、大きな余白などの様々な絵画的要素の中で形作られた油彩画と、精微で硬質な質感の鉛筆画は、制作に時間を要し、年に数点というペースで描かれてきました。

近年、愛知県瀬戸市に移住し、第二子の出産を経て、その地で生み出された陶レリーフの作品群によって、安藤はそれまでの表現から大きな展開を遂げました。また、関連して描かれたドローイング群や絵画作品からは、身近な対象の今を大切にすくい取ろうとする新たな姿勢がうかがえます。

作家の身辺の変化から生じたものを、初期の油彩画や鉛筆画、近年の水彩や木炭のドローイング、陶作品、新作の絵画作品やインスタレーション等、作品の変遷から読み解きます。手法を変化させながらも、一貫して「絵」を作り続けてきた安藤のこれまでの歩みを展覧します。



3 1
4 2

1 「夕陽を描く」紙に鉛筆、水彩色鉛筆、水彩、66.0×50.0 cm / 2022年、Photo by Tamotsu Kido
2 「ソートの少女II」アクリリック、板、74.1×w.91.6×d.12.2 cm / 2020年、photo by Kenji Takahashi
3 「PE」パネル張り、コンクリートに油彩、90.0×146.0 cm / 2014年、photo by Tamotsu Kido
4 「My Little Sister」紙に木炭、66.0×66.0 cm / 2019年、photo by Tamotsu Kido
all images: ©Masako Ando, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

安藤正子 Masako Ando

1976年愛知県生まれ。瀬戸市在住。2001年愛知県立芸術大学大学院修了。現在、同大学美術学部油画専攻准教授。主な個展に、「ハラクキュメント9 安藤正子 - おへその庭」(原美術館、2012年)、「安藤正子 作品集刊行記念展『Songbook』」(8/ ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery、2016年)、「Portraits」(Tomio Koyama Gallery、2021年)。主なグループ展に、「高橋コレクション展 マインドフルネス」(鹿児島県霧島アートの森、札幌芸術の森美術館へ巡回、2013年)、「リアル(写真)のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと」(平塚市美術館ほか6館を巡回、2022年)等。

関連イベント

ワークショップ

「海の石に貼り付けて作ろう 生き物のお皿」

海の石を型にして、世界にひとつだけのお皿を作ってみましょう。後日、焼成してお渡します。

日時 7月23日(日)14:00~15:30
講師 安藤正子氏
対象 小学生~一般(小学3年生以下は保護者同伴)
定員 12名(抽選)
会場 当館1階ロビー
参加費 1,000円(材料費)
申込み 7月7日(金)午後5時までに当館WEBサイトからオンライン申込。または、はがきに郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・学年・電話番号を記入し「安藤正子展ワークショップ」と明記の上、郵送。

アーティストトーク

日時 8月5日(土)10:00~、14:00~
講師 安藤正子氏
会場 当館2階企画展示室
参加費 無料(要観覧券)
申込み 不要(当日直接会場)
※10:00~の回は、赤ちゃん・おさま連れの方もお気軽にご参加ください。

学芸員によるギャラリーガイドツアー

日時 7月29日(土)、8月27日(日)各14:00~
会場 当館2階企画展示室
参加費 無料(要観覧券)
申込み 不要(当日直接会場)

フードイベント

安藤正子氏が作ったお皿で、美味しいおやつをご提供します。

安藤さんのお皿でコロッケを

日時 7月15日(土)11:00~(売切れ次第終了)
※荒天順延。事前に当館SNSにて告知します。
協力 コロッケ屋みね
会場 当館前屋外スペース

安藤さんのお皿で月餅を

日時 8月19日(土)11:00~(売切れ次第終了)
協力 いたまど
会場 当館喫茶コーナー

安藤さんのお皿でカップケーキを

日時 9月3日(日)11:00~(売切れ次第終了)
協力 Art Space & Cafe Barrack
会場 当館喫茶コーナー

[同時開催]

- 三岸節子 コレクション展(常設展)「太陽に祈りを」
 - こどもミュージアム2023「おぼけのマルとほしにねがいを」
 - いちのみやミュージアムズ「3館deスタンプラリー」
- 会期:7月8日(土)~9月3日(日)

※当館および一宮市が取材した記録映像・音声等は、加工せずそのままウェブサイトや広報紙に掲載することがあります。

本展にあわせて作品集「安藤正子 ゆくかは」(青幻舎)を刊行!



一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
e-mail: migishi@city.ichinomiya.lg.jp <https://s-migishi.com/>
Tel: 0586-63-2892 Fax: 0586-63-2893
f@s.migishi.museum @s.migishi.museum @s_migishi_muse

交通案内/公共交通機関をご利用の場合 名古屋駅から電車とバスで約40分

—JR東海道本線(名古屋駅⑤⑥番)にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車(JR新快速・名鉄特急で10~15分)、一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。[バスは1時間に約3本運行]
—岐阜羽島線(東海道新幹線)からタクシーで約20分

